



先輩からのメッセージ

就職して半年が過ぎた卒業生たちが、配属も決まり頑張っている近況報告と今後の学校生活をどのように過ごせばいいか、また、中学時代になぜ佐賀工業に進学したか？参考になるようなメッセージを送ってくれました。少しでも参考になればと思い、ホームページに掲載しました。



森田 恒平（鹿島東部中学校出身）

- ◆平成30年度 卒業
- ◆機械科学部
- ◆西島製作所へ就職

・母校への近況報告

私は品質マネジメント部試験課に配属されました。そこでは出荷する前に試験して、お客様が求めている性能がきちんと出ているかを見ます。

私は小型のポンプを主に担当しております。まだまだ分からないことばかりですが、やりがいがあります。大阪に来て半年が経ち、大阪での生活にもだいぶ慣れてきました。

また、こちらに来てすぐにバイクを買って休日によく走りに行きます。私は釣りも大好きでほぼ毎週、琵琶湖に釣りに行っています。休日が楽しみで仕方ありません。

・佐賀工業を選んだ理由

私は幼いころからものづくりが好きでそれで佐賀工業を選びました。特に、機械科は先生も生徒もいい人ばかりで行ってよかったと思っています。

・高校時代に一番頑張ったこと

勉強と資格取得を頑張ってください。将来の幅が広がります。

また、勉強ばかりではつまらないので、自分が好きなことにも打ち込んでください。何かに夢中になった経験は、社会に出てからも必ず役に立ちます。一分一秒を大切にしてほしいです。



野中 崇義（多久中央中学校出身）

- ◆平成30年度 卒業
- ◆野球部
- ◆セントラル硝子（株）宇部工場へ就職

・母校への近況報告

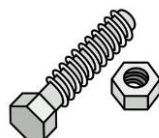
今は社有寮で生活しながら、配属先の化学品課で三交替の仕事をしています。夜勤などきついこともありますが、仲間に恵まれて楽しい生活を送っています。また、会社の野球部で野球を続けており、日々練習に励んでいます。これからも佐賀工業で学んだことを活かして頑張っていきます。

・佐賀工業を選んだ理由

私は野球をしていたということもあり、人数が多いところで勝負してみたいという思いがありました。更に就職率が100%であること、また中学時代の先輩が熱心に誘って下さったということもあり、佐賀工業の機械科を選びました。

・高校時代に一番頑張ったこと

学校ではコミュニケーション能力の向上を目指して、先生方や野球部のメンバーと積極的に会話をするようにしていました。また、勉強と部活の両立を目標に掲げ、体力的にきつい時期でも手を抜かず最後までやり遂げました。今、それらの経験が仕事にも私生活にも生かされていると感じています。



中村 駿介（武雄中学校出身）

- ◆平成30年度 卒業
- ◆ソフトテニス部
- ◆川崎重工業 明石工場へ就職

・母校への近況報告

毎日のランニングや規律訓練など、厳しいことがありますが、各工場からの体育祭やレクリエーションなどといった楽しいことがあります。

また、関西のノリについていくことも大事で、メンタルも鍛えられ、もまれながら頑張っています。一年間の訓練期間があるので、配属先は多くの部署を考えることができます。

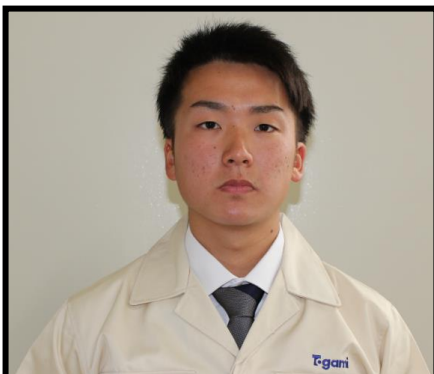
・佐賀工業を選んだ理由

バイク関係の仕事をしたいと考えた時に一番の近道は、佐賀工業の機械科が一番学ぶことができ、就職率が高く希望する職種への入学ができるのではないかと思います。佐賀工業に入学しようときめました。入学してみて、機械系が好きな仲間が集まるので、ものづくりが好きな人は、ぜひ入ってみてください。

・高校時代に一番頑張ったこと

高校の授業で、学べるアーク溶接や旋盤に興味をもち、それぞれの資格にチャレンジすることを頑張りました。

仲間と約2か月間切磋琢磨し、旋盤3級などの資格を取得することができました。一生自分のものになる資格が大事なので部活と両立できるように頑張ってください。



鶴丸 弘大（芦刈中学校出身）

- ◆平成30年度 卒業
- ◆サッカー部
- ◆（株）戸上電機製作所へ就職

・母校への近況報告

今は、開閉器の中の駆動機構の製作などを行っています。

毎日充実した生活を送っています。

・佐賀工業を選んだ理由

ものづくりが好きで、もっと深く学びたいと思い佐賀工業の機械科への進学を決めました。

・高校時代に一番頑張ったこと

3年間、勉強と部活動の両立を目標に頑張りました。

勉強は、いろいろな資格試験に挑戦し、サッカーも自分なりに頑張りと、うまく両立できたと思います。後輩の皆さんは、3年生から頑張るのではなく、1年次からの積み重ねが大切ですので、是非、目標を立てて3年間で大切に送ってください。



古川 友貴（鍋島中学校出身）

- ◆平成30年度 卒業
- ◆陸上部
- ◆久光製薬（株）へ就職

・母校への近況報告

自分は今鳥栖工場でサロンパスを作る工程で働いています。

覚える事が多く一日一日ついていく事で必死ですが周りの先輩方が一つ一つ丁寧に教えてくださるので、良い環境で仕事が出来ていると感じます。自分はいつか機械の保全など技術者になる事が目標なのでそれに向かって頑張ります。



栗山 大輔（白石中学校出身）

- ◆平成30年度 卒業
- ◆野球部
- ◆（株）中山鉄工所へ就職

・母校への近況報告

仕事をしていてきついこと、大変なこともあります。1日1日頑張っております。高校時代学んだことが少しは生かすことができているかと思います。毎日覚えることばかりで大変ですが一日でも早く戦力になれるように、また成長できるように頑張っていきます。

・佐賀工業を選んだ理由

幼いころから機械に触れることが好きで、将来は機械を製造する仕事に就きたいと思い佐賀県 No.1 の工業高校の佐賀工業に進学しました。

・高校時代に一番頑張ったこと

高校時代頑張ったことは勉強と部活動の両立です。勉強面では、家に帰って勉強しないため授業を集中して受け、テスト前は分からないところがあれば先生に聞きに行っていました。部活動では、毎日夜遅くまで練習に取り組みました。勉強と部活動の両立は大変だったけど今では頑張ってたよかったなと思います。



・佐賀工業を選んだ理由

中学生の時からもの作りが好きで高校ではもの作りに対する専門的な知識を学びたいと思い希望しました。その中でも機械科は溶接や旋盤加工や手仕上げなどの作業があり、もの作りといえば機械科だという意識が強かったので機械科にしました。

何かの物を作ったり、組み上げたりする作業が好きなのは機械科に来るしかないと思います。

・高校時代に一番頑張ったこと

陸上部では主に100mと200mを専門してインターハイを目指し日々練習に励んでいました。



大坪 瑞宜（昭栄中学校出身）

- ◆平成30年度 卒業
- ◆野球部
- ◆日本タンクステン株式会社へ就職

・母校への近況報告

仕事は高校の時の実習とは違い、寸法公差が厳しく少しでもずれていたら不良になってしまうのでとても大変です。しかし、同じ部署の方々は優しく、丁寧に教えて下さり、やりやすい環境で仕事できています。

同期の仲間にも恵まれ、会社の野球部に入り野球も続けており、毎日楽しく生活することができています。

・佐賀工業を選んだ理由

高校を卒業したら就職しようと考えていました。

そこで高校を調べていると、多くの資格が取れ、就職率も高く、また部活にも力を入れているのが佐賀工業だと知り、ここが自分に一番合っていると思い、選びました。

・高校時代に一番頑張ったこと

「勉強と部活の両立」で、部活をした後は勉強する余裕がなかったので、授業中で補えるように集中して受けるように心がけていました。

後輩たちにはなるべく多くの資格を取って、会社の選択肢を広げられるように、部活だけでなく勉強も頑張してほしいです。

結果惜しくもインターハイに行く事は出来ませんでしたが部活動では協調性や礼儀など社会入って大事なことを学ぶ事が出来ました。

課題研究という一年間かけて自分達で作品を作り上げる授業では、コマ大戦（佐賀大会）に出場するためにどのようにしたら強いコマを作れるのかを研究し、挑戦した結果、全国大会出場を成し遂げる事ができました。全国大会出場が決まった時は、とても達成感がありました。皆さんも勉強に部活頑張ってください。頑張った分だけいい結果がついてきます。

